

○ 教科に関する調査の状況

【レーダーチャート】

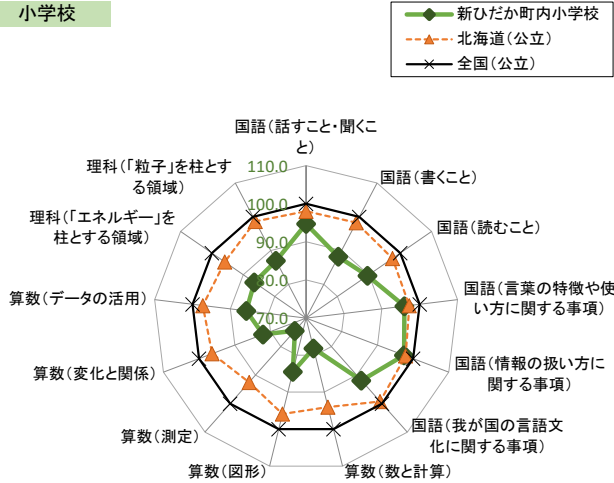
- ・教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの  
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)
- ・中学校理科の結果は、IRTスコアで表されるため、レーダーチャートに表示していません

【平均正答率・平均IRTスコア】

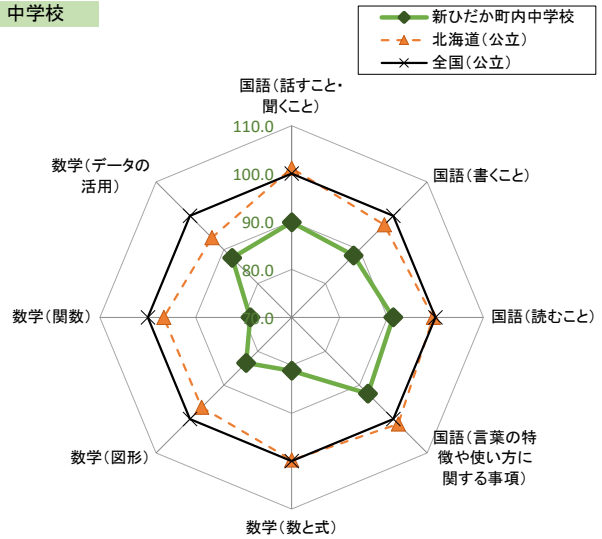
※中学校理科は平均IRTスコア

	小学校			中学校		
	国語	算数	理科	国語	数学	理科
北海道(公立)	65.4	55.2	56.3	54.0	46.7	505
全国(公立)	66.8	58	57.1	54.3	48.3	503

小学校



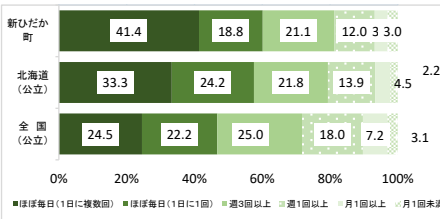
中学校



○ 質問調査の状況

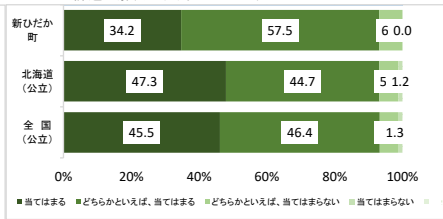
小学校 <児童質問>

5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使いましたか



中学校 <生徒質問>

授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか



○ 調査結果の分析

- ・小学校において、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業において積極的かつ効果的に活用を進めてきたことにより、PC・タブレットなどのICT機器を活用することで、友達と考えを共有したり比べたりしやすくなったと肯定的に回答した児童の割合が全国を上回ったと考えられる。

- ・中学校において、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組む協働的な学びを進めてきたことにより、道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいると肯定的に回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。

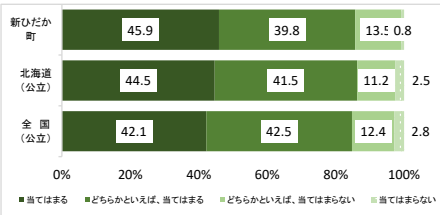
- ・小学校算数及び中学校数学の平均正答率が全国及び全道を下回っている状況は、算数・数学の授業の内容がよく分かると回答した児童生徒の割合が全国及び全道を下回っていることが、要因の一つとして考えられる。

○ 今後の改善方策

- ・「リーディングDX事業」及び「新しい私たちの学びの授業力向上推進事業」によるICTの効果的な活用による授業改善の推進
- ・中学校区を単位とした学力向上推進ブロックにおける小中の連携を図った学力向上の推進
- ・授業との関連を図った家庭学習の取組とアウトメディアチャレンジの推進

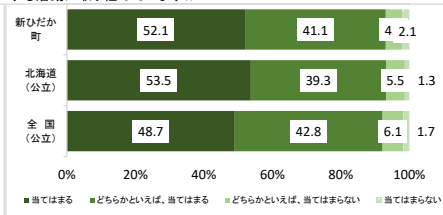
小学校 <児童質問>

5年生までの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することで、友達と考えを共有したり比べたりしやすくなりましたか



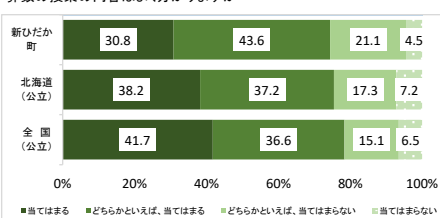
中学校 <生徒質問>

道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか



小学校 <児童生徒質問>

算数の授業の内容はよく分かりますか



中学校 <生徒質問>

数学の授業の内容はよく分かりますか

